



2022 おもしろ科学まつり和歌山大会で実験ブース出展しました!!

和歌山信愛大学と本町公園にて 11/26(土),27(日)11:00~17:00 の時間帯で『青少年のための科学の祭典 2022 おもしろ科学まつり和歌山大会』が開催されました。3年ぶりの対面での開催であったこともあり、2日間で来場者約 4,000 人となり、大盛況でした。本校からは、『アルコールで雲をつくろう 手の中で雲ができる!』『スーパーボールをつくろう!』の 2 ブース出展しました。雲をつくろうでは、“熱力学第 1 法則”,スーパーボールでは“塩析”について、小学生にも理解できるよう、わかりやすく説明することができました。テスト発表中にも関わらず、参加してくれた皆さん本当にありがとうございました。子どもたちに科学の楽しさ・面白さが十分伝わっていたと思います。興味を持った人は、来年度に参加してくださいね。



SS 探究科学 I 「家庭科ゼミ」水ロケットを園児が訪問

SS 環境探究科学 I 「家庭科ゼミ」では発達段階において科学的関心がどのように育まれるかについて研究をしています。この取組の一環として 11 月 25 日(金) 宮保育所から園児達が来校してくれました。家庭科ゼミの生徒達は水ロケット発射の様子を見学する園児達がどのような反応を示すかを観察しました。また水ロケット発射の様子はドローンでも撮影しました。水ロケットとドローンを間近に見た園児達は驚きと喜びの感情で溢れていました。

本校生徒達の説明にも力がり、園児の素朴な質問に頑張って答えていました。「(水じゃない)お茶でも飛びますか?」「どうして、ロケットは飛ぶんですか?」一見当たり前を感じることも、改めて説明するとなると難しいものです。説明する経験を通じて、水ロケットの仕組みを深く理解するとともに、伝えることの難しさも実感していました。

